

セントラルパーク基本計画

概 要 版

第Ⅰ章 計画の前提

本計画は、「セントラルパーク構想」（平成 26 年策定）を実現するための具体的な方策を明らかにするものです。

本計画では、将来の実現すべき公園像に向かって、再整備と管理運営を一体的に捉え、両公園の利活用を発展させていく公園マネジメントの視点から、継続的な改善を加え、都市の活性化につながる公園づくりを目指します。



第Ⅱ章 基本方針

（１）基本方針

本計画は、セントラルパーク構想における基本理念と基本的な方向性に基づき、両公園の魅力あふれる特性を最大限に活用することにより、県民・市民、観光客による様々な利活用の推進を第一に捉えています。

また、公園マネジメントの視点による管理運営計画、整備計画を定め、将来にわたって継続的に両公園の魅力を高めていきます。

セントラルパーク構想

〈基本理念〉 時をわたり、人をつなごう。
～未来へつながる福岡のシンボルへ～

〈基本的な方向性〉 空間をつなぐ 時をたどる
にぎわいをつくる みんなで育てる

セントラルパーク基本計画

〈基本方針〉 大濠公園・舞鶴公園の特性を最大限に活かし、
県民・市民、観光客の利活用を推進する

(2) 実現すべき公園像

本計画では、県民・市民と観光客という大きく二つの利用者像を設定します。県民・市民に対しては、都心部のオアシスとして貴重なみどりやオープンスペースなどの活用を推進します。観光客に対しては、福岡のランドマークとして歴史や芸術文化などの活用を推進します。

また、将来の利活用イメージを12の視点から描き、具体的な管理運営や整備を行っていく上での指針とします。

空間をつなぐ



ジョギングの聖地

仕事を終えたらセントラルパークへ
公園内で荷物を預けて着替え 両公園をジョギングで周回する
緑の風景・水辺の風景・歴史の風景を楽しんで走る



都心部の生き物の大きな家

恒例となったセントラルパークでの自然観察
水辺の生き物や季節の植物に子どもたちは目を輝かせる
自然とふれあいながら、子どもたちは成長していく

にぎわいをつくる



休日を過ごしたくなる憩いの場

休日はみんなでピクニック
水面や石垣の見える大きな広場でお弁当
子どもたちは虫を追いかけて 大人は花々を眺めながらゆったり散歩
都心の中でみどりの休日



アート巡りの拠点

天神から歩いてアート巡り
福岡市美術館や日本庭園、園路沿いの広場でのアートイベント
次はどんなアートに出会いたいこう



福岡でのイベントならセントラルパーク

いつ来ても楽しいね
アクセスしやすく、イベントのしやすい環境で
公園の魅力を活かした様々なイベント

時をたどる



古代より連なる歴史の舞台

古代の鴻臚館、近世の福岡城、近代の大濠公園…
重なる歴史に思いを馳せる
教科書には載っていない福岡の歴史の面白さ
古代からの歴史のつながりを再発見する



アジアを代表する観光地

福岡の観光名所といえばセントラルパーク
園内は Wi-fi の整備や VR、AR などのデジタル技術を用いた解説が
設置され、古代の風景をイメージしながら現在の風景を比較できる
歴史の風情を体感でき、大満喫の一日



福岡のランドマーク「セントラルパーク」

広大な緑や水辺を持つセントラルパークは都心のオアシス
公園の特性を活かしたプログラムと空間づくり
そして様々な関係者が共働した公園マネジメント
セントラルパークこそ、福岡のランドマークにふさわしい

みんなで育てる



利用者に愛される公園

どもの時の遊び場だったこの公園に、今は子どもと通っている
節のみどりに囲まれながら広場でピクニック
っと子ども達もここが好きになる



市民・企業連携のステージ

芝生広場でヨガの野外レッスン
セントラルパークの魅力を活かした活動が増えると
公園の利用がますます進み、市民や企業との連携や寄付が増える



ボランティアの舞台

ボランティア活動で植えた美しい草花
セントラルパークとして一体感のある風景を演出している
活動の拠点もできて、ボランティア同士の交流が楽しみ



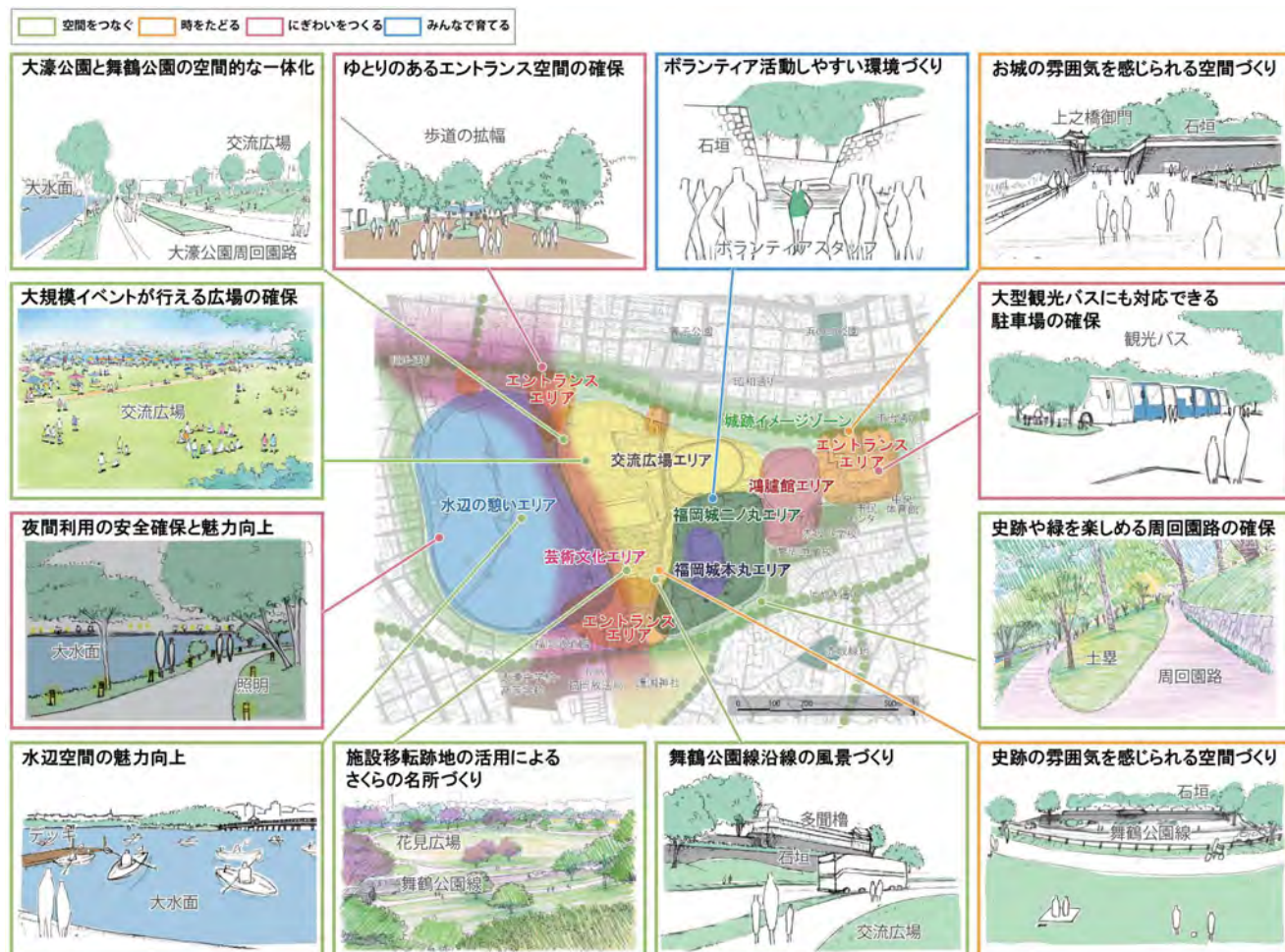
魅力づくりに貢献したくなる公園

セントラルパークの存在が福岡の魅力
県民・市民ひとりひとりが公園の一員
セントラルパークが魅力的であるほど福岡のまちが活性化していく

第Ⅲ章 実施方針

セントラルパーク構想で示したゾーニングを細分化し、両公園をつなぎ一体的な活用を促すための主要な動線の確保及び、主要な施設間での連携強化を図ります。

その実施方針に沿った両公園の利活用の展開イメージを示します。



利活用の
展開イメージ

第Ⅳ章 管理運営計画

〈管理運営の方向性〉

- ①歴史や立地などの公園の特性を活かしながら、利用者に喜ばれ、県民・市民活動を育てていく「**企画運営**」
- ②地域住民をはじめ、県民・市民、各種団体や企業等の様々な主体との共働を育む「**共働の公園づくり**」
- ③再整備と連動しながら継続的改善を進め、更なる利活用を推進する「**維持管理**」

■共働の公園づくり

現在の行政主導の状況から、公園に関わる様々な人々の取組みが主体となった運営を目指し、連携体制の構築を行います。



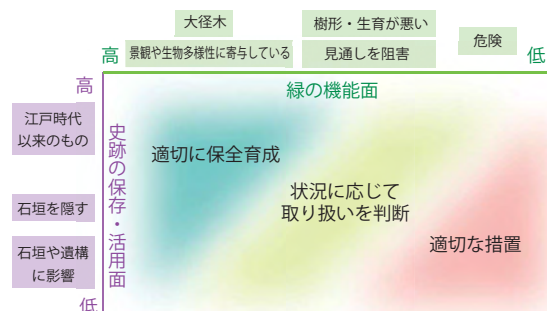
管理運営主体の概念図

■企画運営

県民・市民に対して、四季を通じてパッケージ化されたイベントを実施するとともに、観光客に対して、歴史資源を活かしたプログラムの充実により、公園に訪れた特別感を演出します。また、官民一体となった情報発信を行います。

■維持管理

さらなる利活用を推進するためのみどりの管理、歴史資源の管理、施設管理を行っていきます。特に、みどりの管理については緑の機能面と史跡の保護・活用面から、適切な密度管理をはじめとする植栽の修景を行います。



植栽管理の概念図

第Ⅴ章 整備計画

■全体計画図



■エリアの整備イメージ



①大濠公園北側エントランス



②くじら公園～三ノ丸広場



③舞鶴中学校跡地・城内住宅



④舞鶴公園線沿線



⑤福岡城本丸・二ノ丸周辺



⑥鴻臚館跡



⑦福岡高等裁判所跡地



⑧大濠公園南側エントランス

第Ⅵ章 将来像の実現に向けて

（１）事業の進め方

セントラルパーク
基本計画
(令和元年(2019))

短期（概ね 10 年間）

ソフト施策の充実とそれを支えるハード整備の推進による両公園の魅力の向上、及び回遊性の強化

短期以降

福岡のランドマークとしての歴史の重層性の表現と様々な利活用を育む大規模な広場空間の創出

全体計画図

（２）短期（概ね10年間）イメージ



の充実

潮見櫓の復元



大濠公園・舞鶴公園の
一体的な回遊性向上



木々や花々による四季の魅力づくり



明治通り

入口広場

旧母里太兵衛邸
長屋門

平和台
陸上競技場※

上之橋御門

駐車場※

テニスコート※

(仮称) セントラルパーク
総合案内施設

鴻臚館跡展示館

扇坂

祈念櫓

桜園
(本丸)

天守台跡

土塁

多聞櫓

高等裁判所跡地の整備

テニスコート (暫定)

駐車場 (暫定)

(高裁跡地)

総合案内施設

上之橋御門

鴻臚館跡の活用

鴻臚館跡展示館

公園のアクセス性向上



史跡や緑を楽しめる
周回園路の確保



※印は暫定施設

0

100

200

500m



